

3Rについてのグループ討議検討結果一覧表

●リデュース (Reduce 発生抑制)

課題及び手段	1 班	2 班	3 班	委員会としての働きかけや課題等 (案)
	中村 一・小澤陽一・平澤 美恵子 酒井 初雄・三澤 知恵子	北原 文明・倉田 節子・池上 裕平 福澤 崇・小林 智子	有賀 喜志子・伊東 久・矢田 雅子 小牧 崇・三澤 大治	
1 レジ袋等の削減の方策				
協議会の立ち上げの働きかけ	消費者の会等の団体、販売店、市民による協議会を行政主体で立ち上げる 具体的で即実行できるような施策の協議	下伊那では県が中心となり80%以上の成果を上げている。生活圏が広域化しているのので、市ではなく上伊那として協議会を立ち上げていくのが良い。県は腰が重いが委員会として働きかけていく。	だいぶ普及してきたので、今更改めて立ち上げる必要はないのではないかと。その分、具体策を考えて行動したい。	上伊那郡を統一する、事業者と消費者、行政とが協議する機会が必要ではないかと。
マイバックの持参の促進	有料化を軸に検討→統一が必要	お客様と店舗各々にメリットがあるような方法。お客様の意識改革が必要である。	有線放送やケーブルテレビで推進を放映してもらうのも一案。長い時間をかけて定着し始めた。売る側にも意識付けが必要。特に、小さな商店が難しい。また、食品は意識しているが、洋服などは、難しい。あらゆる方面で推進を働きかける必要がある。但し、万引き等防犯上の問題もクリアしなければならない。	マイバック持参の広報。事業者、消費者のメリット、万引き等の対策、有料化等を協議する機会が必要ではないかと。
簡易包装の推進	事業主や市民への意識付け	なお一層の簡易包装の推進を図る。重包装は時と場合により使い分けをする。海外では袋はくれない。		意識付けのための広報が必要。

課題及び手段	1 班	2 班	3 班	委員会としての働きかけや課題等（案）
2 マイ箸等の持参の方策				
マイ箸の利用の促進	<p>区の行事などでの利用促進 昔のように洗って何度でも使えるものを使用する 生活スタイルを変えることが必要</p>	青年会議所では2008より加盟店にマイハシ運動を呼びかけている。	割り箸から塗り箸に切り替えている店舗が増えてきた。	<p>マイ〇〇の利用者を増やす事が大切なので、会議等での持参の呼びかけをし、その後広報等で呼びかける。</p>
マイカップの利用の促進		陶器、プラなどのカップを用意しておく。	イベントや、会議などで、それぞれの持参を呼びかける。通知文書に「御持参ください」とそえる。継続していると同意する人も増えてくるはず。	
マイボトルの利用の促進		水筒持参の呼びかけ。		
マイぞうきんの利用の促進		机の上などを拭く場合には、ティッシュを使用せずマイぞうきんを使う。	難しい。	
		大変便利な先人の知恵、風呂敷の利用促進。		

●リユース (Reuse 再利用)

課題及び手段	1 班	2 班	3 班	委員会としての働きかけや課題等 (案)
1 フリーマーケットの開催				
「みんなの生活展」でのフリーマーケットの継続及び充実	現状を維持、または規模の拡大が必要	フリーマーケットが人気になっているが、プロの店が多く出展している。	定期的にやることは、必要では？	定期的な開催と規模（ブース数）の拡大（プロ対策） 市民優先の区画割
「お下がり」制度の導入	現在行っているもの（チャイルドシートの譲渡など）を継続する	スキー用品、学校用品など、タウン誌を利用して情報交換する。	園児服や、制服などが必要なグループ内で声を掛け合う。学校内で期末などに融通しあえばよい。機会を与えることが必要。	
定期的なフリーマーケットの開催	場所などの提供（市の施設）	定期的な場所の提供（月1、年数回）など。誰が管理をしているのか？	行政に担当をおいて、情報提供をする。HPや市報に開催日等を掲載。開催場所についても、いろいろな情報を持ち、開催したい団体に情報を提供する窓口になる。 イベントの一部にバザーやフリーマーケットを取り入れて参加させる。 セントラルパークや、いなっせ北側など、月毎定期的に登録したグループが開催する。	現在、実施している譲渡会等に、「お下がり」会を行なう。 市の施設の提供が必要

		若い人が利用しているので子育て支援センターを利用する。 有料、無料、交換会各種意見あり。		
課題及び手段	1 班	2 班	3 班	委員会としての働きかけや課題等（案）
2 リユースびんの利用促進				
リユースびんの利用促進	リユース可能なびんの購入を呼びかける（牛乳、ビール、お酒など） 事業者へリユースびん製品を優先的に仕入れるよう働きかける費用負担	リユースびんに変えていく	お店側に協力を願う。個人商店でもつめかえをしてくれるところがある。そういう店があるという宣伝を積極的にする。	上伊那郡を統一する、事業者と消費者、行政とが協議する機会が必要ではないか。
		最近は薄型のペットボトルが流行し、子供たちが求める。		

●リサイクル（Recycle 再生利用）

課題及び手段	1 班	2 班	3 班	委員会としての働きかけや課題等（案）
1 布類のリサイクル				

<p>ごみとして出される布類のリサイクルの研究</p>	<p>木綿から燃料（バイオエタノール）にすることが可能となったのでそれについての研究を行う</p>	<p>紳士服販売店では新しいスーツなどを購入した場合のみ、古いスーツを回収している。</p>	<p>ライオンズクラブは衣類、靴を。社会福祉協議会等では、介護用品用にシーツやバスタオルを集めているが、いずれもPR不足。化学繊維を再生することを実践している団体はないか情報が欲しい。定期的に集めると、たくさん集まるのではないかと。</p>	<p>現状を調査し、実行可能なものについて検討する。</p>
		<p>お下がり制度が定着してくればごみは減らせる。</p>		

課題及び手段	1 班	2 班	3 班	委員会としての働きかけや課題等（案）
<p>2 シュレッダーされた紙の利用の研究</p>				
<p>シュレッダー紙の酪農への再利用</p>	<p>酪農で利用できるか研究する 酪農家が少ないため、他の方法も研究する 紙への再生が可能となっているので研究する</p>	<p>使ってみても良い農家はある。 問題点：インクを嫌がる。カーボンダメ、あちこちからシュレッダーごみが入ってくると、口蹄疫などの病原菌が心配である。 畑に撒いた後、飛散が心配になる。</p>	<p>難しい。えさに混ざると大変。（誤って食べてしまう可能性がある） そのままトイレトペーパーに還元するほうが良いが、コストがどれくらいかかるものか。実践している自治体有り。市民に還元。</p>	<p>現状を調査し、実行可能なものについて検討する。</p>

その他				委員に郵送されたもの。封筒は再利用でよい。まず、委員ができることから継続してやっている姿をPRする。
-----	--	--	--	--